



視点場、階段工



視点場からの眺望



沿道景観整備

利用状況

- ・地元住民によるウォーキングイベントや、散策時の視点場、休憩所として利用されています。
- ・道の駅や福島、二本松駅からパンフレットを見てやってくる観光客が増えました。
- ・釣り、写生会に来る人が増えました。
- ・観光客は平成19年で年間4,000人でした。また、地域住民による清掃活動や散策、ウォーキングイベントなどの取り組みを実施しています。

管理状況

平成18年3月22日に「うつくしまの道・川サポート制度」を二本松市の「とうわ奥入瀬守る会」及び二本松市と締結しました。

関係機関

- 福島県県北建設事務所 企画調査課 TEL : 024-521-7642
- 二本松市土木課 TEL : 0243-55-5123
- NPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会 TEL : 0243-46-2113(道の駅ふくしま東和)

安全に自然を満喫できる空間を整備

東和町太田地区

二本松市

県北建設事務所
計画期間:H16~H18

地域づくりの方針

安達太田川を活用した地域づくりを行うことにより交流の促進を図る。

主な事業内容

渓流美を安全に楽しむため、
県道石沢荻野田線の待避所や視点場等
を整備しました。



事業概要図



地域の現状

「とうわグリーン遊学」として世田谷区、杉並区等の都市と年間数回の交流を行い、農村体験や「東和の奥入瀬」といわれている安達太田川の溪流美の散策や芋煮会等の交流を行っています。また地元住民も安達太田川の溪流を守る清掃活動を続けてきました。

地域づくりのあゆみ

- 平成16年 ・東和町「あぶくま館」・岩代町「さくらの郷」を中心としたまちづくり懇談会の設立。
・まち歩きの実施。
- 平成17年 ・視点場、景観整備の実施。
- 平成18年 ・待避所の整備（1.5車線の道路整備）。
・ふくしまけん街道交流会開催。
- 平成19年 ・地元によるあぶくまふるさとウォーク開催。
- 平成20年 ・地元によるあぶくまふるさとウォーク開催。

地域づくりを進めてきた中での課題及び解決策

（県担当者）

■企画調査課だけでは事業展開できないことや新しい事業展開に対する職員の意識向上を目的に、地区毎に「プロジェクトチーム」を設置し、総合調整を企画調査課が行う組織としましたが、事業を円滑に展開するためには企画調査課担当者が元気に活動することが大事だと感じました。

実施した感想

（県担当者）

■本事業を進めるプロセスが今後標準的な手法になると思われますが、職員が肌で感じ、苦労し、ものにしなければならぬと思います。

元気づくりの立役者たち

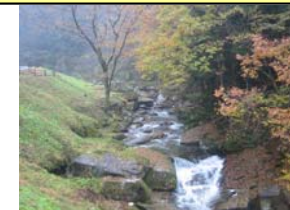
地域と地域の交流



地域の人



とうわ奥入瀬（馬洗川溪流）



相馬街道白髭宿



事業の効果

■ウォーキングイベントの開催

年1回、200人～300人の参加者で行われています。

世田谷交流事業での散策



■他地域との交流連携

街道交流会での散策



世田谷交流事業での散策



■地域間交流

地元の人たちの芋煮会



■地域資源の磨き上げと愛着の醸成

地元住民や小学生などにより、安達太田川の清流を守る清掃活動を実施、地域資源の保全に取り組んでいます。

清掃活動



地域の課題・今後の展望

- ・観光客が増えてきているが、案内板が少ない。
（特に食事が出来る場所（道の駅等）の案内を求められている）
- ・県外から大型観光バスで来る人たちもいるが、道が狭くて通れない。
- ・白髭宿や地元特産品を発掘し情報提供を積極的に行うことが必要。

などの課題があり、これらを解決するための方策を検討し、さらなる交流人口の拡大につなげていきます。